

人はなぜ苦しむのか？

～人の苦しみを聴く力を人気アニメから学ぶ～

参加費無料

毎年、開催しております府民公開講座のご案内です。今年
は、京都大学大学院人間・環境学研究科研究員 佐藤泰子 氏
に「人の苦しみ」について、お話を伺いたいと存じます。

「人は苦しいときになぜ話を聴いてもらいたいのか？」
「語りきった後の静寂は何を意味するのか？」人気アニメの
中のセリフなども交えながら、お話しいただきますので、
府民のみなさま、是非、ご参加ください。

講師 佐藤 泰子氏



京都大学大学院 人間・環境学研究科博士課程修了
2009年 京都大学博士(人間・環境学)取得。
現在、京都大学大学院人間・環境学研究科
人間社会論講座 精神分析学研究室研究員。
京都大学、京都看護大学、聖泉大学、京都経済短期
大学、大和大学等で嘱託講師。

研究テーマのキーワードは、「生老病死」と「ケア」である。そのテーマについて研究していくなか
で、「人が苦しいとはどういうことか」についての解明が必要であることに気づく。そこで、「人はな
ぜ、苦しみ、さらにそこから、どのようにして新しい1歩を踏み出すのか」を構造的に理解する
シエマ「苦しみと緩和の構造」を構築した。

「苦しみと緩和の構造」をもとに人間の苦しみと言語の関係について哲学、精神医学、精神分析を
ベースに研究し、ケアのあり方を探っている。

講演では主に「聴くこと、話すこと」をテーマにしている。人間の苦しみと言語の関係を
しっかりと理解することによって、「聴くこと」「話すこと」の意味が明確になり、そこが腑に落ちる
ことによって誰でも素晴らしい聴き手、援助者となる可能性が開かれることを説く。また、「聴く
力」を社会生活における円滑な人間関係構築の術として活用してもらいたいと考えている。

【著書】

「苦しみと緩和の臨床人間学 ―聴くこと、語ることの本当の意味―」晃洋書房 2011年6月刊行

「患者の力」晃洋書房 2012年10月刊行

「ヒューマンケアと看護学」分担執筆 ナカニシヤ出版 2013年11月 刊行

開催日時

平成26年 11月8日(土)

18時開演～20時まで(17時30分受付開始)

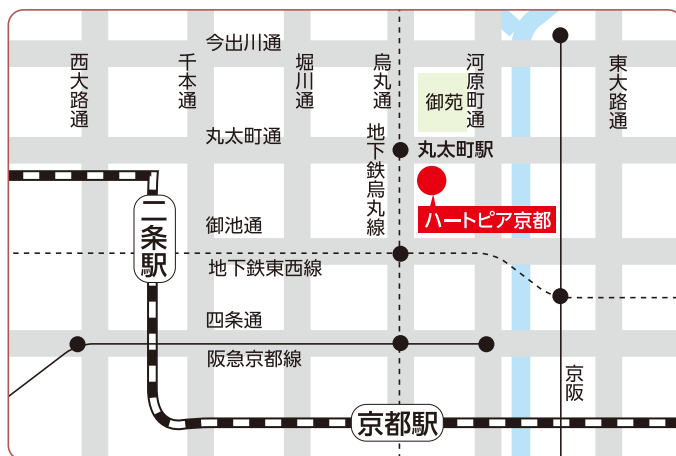
18時00分～キャラクター表彰式 18時30分～講演

開催場所

ハートピア京都
3階 大会議室

京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375

京都市地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5番出口



お申込み方法：右の参加申込書を下記住所へ郵送または
FAXしてください。(Eメール可)